2020年5月　書籍

天草エアラインの奇跡　鳥海高太郎

〈概要〉

熊本県天草地方にある地域航空会社「天草エアライン」にて、開業3年目で赤字に転落してから苦労を経て黒字化を果たした企業再生ストーリー。2000年に開業した日本初の第３セクター航空会社となる天草エアラインは、短時間で天草へ往来できる手段として賑わったものの、開業3年で早くも赤字へ。さらに4代目社長による過度なコストカットにより、遅延や欠便が増える悪循環で、社員の士気も落ち最悪の事態に。倒産の危機から熊本県が支援に入り、立て直しとして新社長に迎えられたのが奥島透さんである。まず、「社長室は不要だから壁を壊してください」と社員に命じ、最初は疑心暗鬼だった社員と打ち解けると頃からのスタート。次第に心を開いていく社員からアイデアを引き出し、さらには

天草出身でくまモンの生みの親や、飛行機マニアも改善に参画してくれるようになる。

〈感想〉

小説のような話だと感じました。規模の大きな話ですが、奥島氏のリーダーシップには見習うべき点を多く感じました。